

# 阿波市橋梁長寿命化修繕計画

●第2案内橋（吉野町） 昭和54年建設



●高尾橋（土成町） 昭和41年建設



●芝生谷大橋（阿波町） 昭和57年建設



●金清橋（市場町） 昭和52年建設



令和2年3月

阿波市建設部建設課

## 阿波市の橋の現状

阿波市では、令和元年度時点で橋の長さが2m以上の橋を632橋管理しています。これらの橋の多くは、高度経済成長期に建設されており、今後、急速に橋の高齢化が進むことが予想されます。

図-1は、阿波市が管理する632橋のうち、建設から50年以上が経過した橋の割合の推移を示しています。この図からは、建設から50年以上が経過した橋が令和元年時点で94橋（15%）であるのに対して、15年後には374橋（59%）、30年後には576橋（91%）となり、橋の高齢化が一段と進行することが分かります。



図-1 建設から50年以上が経過した橋の割合の推移

こうしたことから、高齢化した橋の安全性や信頼性を確保するためには、橋の修繕・架替えにかかる費用の増大が見込まれます。

このため、今後の橋の維持管理には、橋を出来るだけ長持ちさせ、合理的で効率的な維持管理を行うことによって、可能な限りコスト縮減に取り組むことが不可欠です。

従来の一般的な橋の寿命は50年～60年と言われていたけど、これからは、こまめに橋を治すことで、出来る限り橋を長持ちさせるよ。





# 阿波市の取組みと経緯

阿波市では、これまで橋の損傷が大きくなってから修繕を行ってきました。これからは損傷が小さいうちに修繕を行い、修繕や架替えに要する費用の縮減に努めつつ、地域の交通ネットワークの安全性・信頼性を確保していきます。

そのため阿波市では「橋梁長寿命化修繕計画」の策定により、これまでの『**対症的な維持管理**』から、橋の劣化の進行を予測し、損傷が大きくなる前に早めに手当てをする『**予防保全的な維持管理**』へ移行し、将来にわたる維持管理・更新(架替え)コストの最小化を目指していきます。

表一 1 管理手法

維持管理手法		
種類	内容	費用
対症的な (従来の方法)	<ul style="list-style-type: none"><li>大きな損傷になってから対策を実施</li><li>損傷によるダメージが大きいため、橋を長く使うことが難しい</li></ul>	多 
予防保全的な (今後の方法)	<ul style="list-style-type: none"><li>小さな損傷のうちに対策を実施</li><li>損傷によるダメージが小さいため、橋を長く使うことができる</li></ul>	少 

阿波市では、重要な橋に対して平成 22 年 3 月に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、計画に基づいた修繕を行い、橋の長寿命化に取り組んできました。

平成 26 年には、道路法施行規則において、全ての橋を対象に 5 年に 1 回の目視による点検が義務化され、阿波市においても橋長 2m 以上の全ての橋に対し、目視による点検を行ってきました。

そして、前回の「橋梁長寿命化修繕計画」から 9 年経過し、すべての橋の点検が完了したことから、「橋梁長寿命化修繕計画」の見直しを行いました。

令和元年度の「橋梁長寿命化修繕計画」では、阿波市が管理する橋長 2m 以上の全ての橋を対象に計画の策定を行い、計画的に修繕などの対策を実施していきます。また、継続的に点検を実施し、計画の見直しを行います。



## ● 橋梁点検（橋の状態確認）



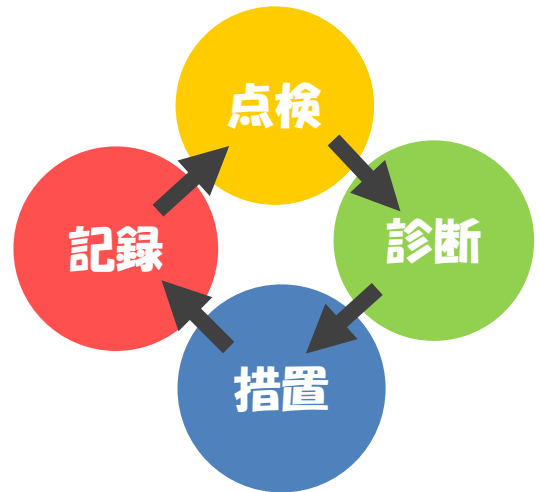
橋梁点検車による近接目視  
高速道路の修繕工事(夜間通行止め)に  
合わせて実施



梯子による近接目視

## ● メンテナンスサイクルの構築

定期点検で健全度を診断するとともに将来にわたる長寿命化修繕計画を策定し、予防的な修繕を行うことで橋の維持管理を効率的かつ効果的に進め、橋の長寿命化を目指します。

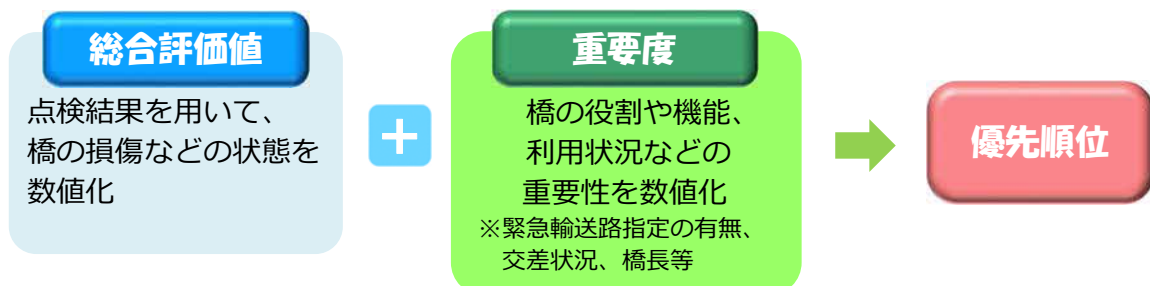


# 橋梁長寿命化修繕計画の見直し

## ● 対象橋梁、計画期間

阿波市が管理している2m以上の632橋を対象に、今後30年間の橋梁長寿命化修繕計画を見直し、計画的な維持管理を行うための対策の優先順位を決めました。

## ● 対策の優先順位の考え方



## 対策内容と実施時期

定期点検の結果、阿波市が管理する橋には、早めに修繕対策を行うことが望まれる橋が確認されました。「橋梁長寿命化修繕計画」では、橋の傷み具合や道路ネットワークに対する重要性などから優先順位を決定し、すでに計画済みの橋を含め、これらの橋の修繕を優先的に行う計画としています。

表一２ 最初5年間の修繕計画

橋の名前	対策内容	実施時期				
		2020	2021	2022	2023	2024
馬場コモウ川1号橋	塗替塗装工					
向ヶ島コモウ川1号橋	塗替塗装工					
東久保1号橋	塗替塗装工					
千代橋	断面修復工ほか					
西ノ宮2号橋	塗替塗装工、断面修復工ほか					
山王子橋	断面修復工ほか					
上畑(太鼓坂)橋	塗替塗装工					
中大久保谷橋	断面修復工ほか					
伊沢谷橋	断面修復工ほか					
中坪橋	塗替塗装工					
橋嶽橋	断面修復工ほか					
芝生谷大橋	断面修復工ほか					
土柱大橋	断面修復工ほか					
伊沢谷川橋	塗替塗装工、断面修復工ほか					
広間橋	塗替塗装工、断面修復工ほか					
五明橋	断面修復工ほか					
長峰大橋	断面修復工ほか					
中央芝生谷橋	断面修復工ほか					
別埜池井出口2号橋	断面修復工ほか					
池田橋	断面修復工ほか					
六反田橋	断面修復工ほか					
金清橋	塗替塗装工、断面修復工ほか					
金清池橋	塗替塗装工、断面修復工ほか					
遅越下橋	断面修復工ほか					
遅越橋	断面修復工ほか					
大月橋	断面修復工ほか					
町境橋	断面修復工ほか					
東天神2号橋	断面修復工ほか					
小竹橋	断面修復工ほか					
国行5号橋	塗替塗装工					
632橋	定期点検	橋梁ごとに5年毎に実施				

2020~2024年に  
順次実施

※補修工事は、橋のひび割れなどの対策や材料の腐食に対して塗装などを行います。

上記の計画は、今後の点検結果、財政状況によって変更となる可能性があります。

## 対策費用

本計画による試算では、今後 30 年間で橋の維持修繕に係る対策総事業費は、定期点検費・設計委託費・対策工事費を含め、現時点で、約 33.3 億円となりました。

## 検討会の開催

本計画は、「阿波市橋梁長寿命化修繕計画策定検討会」において、学識経験者の方から意見を頂いて作成しました。

### ● 意見を頂いた学識経験者

独立行政法人国立高等専門学校機構  
阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース  
笹田修司教授

### ● 検討会開催の様子

令和 2 年 3 月 3 日 開催



令和 2 年 3 月 10 日 開催



### ● 計画策定担当部署

771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1  
阿波市 建設部 建設課（阿波市役所 2 階）  
TEL (0883) 36-8730 FAX (0883) 36-8763





あわし

検索

